

六つの華だより

糸魚川市立磯部小学校
平成 25 年 12 月 25 日(水)No.14
E-mail isobesho@itoigawa.ne.jp
URL <http://www.itoigawa.ed.jp/isobesho/>



自分の言葉で伝えよう みんな笑顔になろう 元気な体をつくろう

まず，“心”を変えることから

校長
高橋雅史

「新年の決意」や「今年がんばりたいこと」を考えても、「うちの子にはあまり進歩や改善が見られない」と嘆かれる保護者の皆様もいらっしゃるかもしれません。中には、めあてをたてて満足し、実行が伴わないこともあるのではないのでしょうか。

私にも、「よし、今年こそは!!」と決意しながら、実際に実行できないことが少なからずあるので、そんな時には下の言葉を思い出すようにしています。

これは、プロ野球の各チームで監督を務め、強いチームづくりに定評のあった野村克也氏が、選手の力を伸ばすためによく使った言葉だそうです。野球選手の育成と子育てや教育は本質的に違う営みかもしれませんが、私は自分の生活などの改善や教育・子育てにも大いに参考になる言葉だと思っています。

心が変われば	態度が変わる
態度が変われば	行動が変わる
行動が変われば	習慣が変わる
習慣が変われば	人格が変わる
人格が変われば	運命が変わる
運命が変われば	人生が変わる

朝日新聞 2008.4.10 23面 北信越ス
ポーツ欄「ぼやきが育む『人間力』」

私たち大人は、子どもたちをよりよく伸ばそうとするあまり、“心”を忘れて、一足飛びに、「“態度”や“行動”や“習慣”を変えなければ!!」と気ばかりあせってしまうことが、しばしばあります。

「毎日きめた時間に勉強する約束でしょう！」

「一体、何回言ったら分かるの！」

「本当に、いつまでたっても身に付かないんだから！」

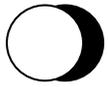
時には、こんな言い方が効果的なこともあるかもしれません。

そして、それをきっかけに子どもの“行動”や“習慣”が変わったように見えることもないとは言えません。しかし、本当に“心”が変わったのでなければ、まず自主的・自律的な取組にはつながりにくく、長続きもしにくいのではないのでしょうか。



子どもたちの“心”を変えることができるのは、励まし、賞賛し、時には叱咤しながらも、ずっと応援し続ける私たち大人の言葉と態度です。「最近、自主的に学習に取り組んでいるね」、「おっ、宿題がんばっているな」こんな、親、教師、家族、地域の皆様の応援が子どもたちの“心”を変え、よりよい、“態度”“行動”“習慣”を育てることにつながるのだと思います。

もうすぐ新しい年を迎え、子どもたちもそれぞれ「今年こそは」と思うめあてや決意をきつともつはずです。それを実行させるためには、何よりも子どもたちの“心”を変えていくことが大切です。そのために、まず、私たちまわりの大人たちの支援の仕方、応援の仕方を見直し変えていくことも必要だと思います。



12月の磯部小学校



一年生は、落ち葉や木の実を使って、素敵なおもちゃを作りました。

練習を始めてから、三年生も今年度から一生懸命取り組みます。



校長室から

2学期の取組への、ご理解とご支援 大変ありがとうございました。

12月24日に終業式を終え、2学期の教育活動が全て終了しました。本校の取組に、地域の皆様、保護者の皆様から多大なご理解とご支援をいただいたことに心より感謝申し上げます。

2学期は、自由研究発表会、6年生が参加した親善陸上大会、校内マラソン大会、文化祭、3・4年生が参加した能生地域の音楽発表会、新校舎の竣工式、6年生の修学旅行…。大きな学校行事がたくさんありましたが、それぞれの行事の目標に向けて、子どもたちは一生懸命取り組んでくれました。学校行事は子どもたちが成長していくための大きな節目になったものと思います。

また、家庭学習や毎日のあいさつ、安全な登下校、委員会や当番の仕事など日々の活動にも、それぞれががんばって取り組んでくれました。

これからも、一つ一つの行事や活動の意義や大切さを子どもたちによく理解させて進めていきたいと思えます。平成26年も本校の教育活動への、皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

今年も残りわずかとなりました。新しい年が皆様にとって、ますますよい年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

* 次回の学校だより「六つの華だより」は、平成26年1月25日(土)発行の予定です。